

ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース

平成20年4月1日発行 第290号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“スペースシャトル・エンデバー号(STS-123)のミッション結果”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。



エンデバー号の打上げ



ペイロードベイ(貨物室)からISSへ移動する船内保管室(飛行4日目)



船内保管室へ入室する土井宇宙飛行士(左)とペギー・ウィットソン宇宙飛行士(右)(飛行5日目)

★ミッションは無事終了、次のディスカバリー号へ

3月11日午後3時28分に打ち上げられたスペースシャトル・エンデバー号は、3月27日午前9時39分に、NASAケネディ宇宙センター(KSC)へ無事着陸し、15日と18時間11分にわたるミッションを終えました。

今回のミッションでは、土井宇宙飛行士が搭乗し、国際宇宙ステーション(ISS)への「きぼう」日本実験棟船内保管室の取付け、「デクスター」(特殊目的ロボットアーム)の軌道上組立て、タイルの損傷修理試験などが行われました。

飛行4日目の3月14日、土井宇宙飛行士はスペースシャトルのロボットアーム(Shuttle Remote Manipulator System: SRMS)を操作し、「ハーモニー」(ノード2/第2結合部)へ船内保管室を取り付けました。飛行5日目の3月15日、船内保管室のハッチが開けられ、土井宇宙飛行士らクルーが船内保管室へ入室しました。日本が開発した最初の有人宇宙施設に日本人が初めて乗り込む、歴史的瞬間となりました。

●STS-123ミッションの結果

<http://kibo.jaxa.jp/mission/1ja/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/main/index.html (NASA: 英語)



ISSに設置された船内保管室(左下)
とデクスター(中央上)(飛行9日目)



JAXA広報イベントを行う土井宇宙飛行士(中央)(飛行10日目)



エンデバー号の着陸(飛行17日目)
(写真は全てNASA提供)

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-124)の準備状況”

NASAは、スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-124)の打上げについて、6月1日以降の打上げを目標に、準備作業を行うことを発表しました。この打上げ目標日の変更は、天候不良によりSTS-124ミッションに使用される外部燃料タンク(ET-128)のKSCへの到着が遅れたことなどによるものです。なお、ET-128は米国時間3月28日にKSCに到着しました。

●スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-124)の打上げ目標日について

http://www.jaxa.jp/press/2008/04/20080401_sts124_j.html



KSCに到着したディスカバリー号の
ET-128 (提供: NASA)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”



別れの挨拶を交わすISSクルーと
土井宇宙飛行士らSTS-123クルー
(提供: NASA)

★最初のISS構成要素打上げから3420日経過しました

★第16次長期滞在クルーのISS滞在は172日

(レオポルド・アイハーツ宇宙飛行士は45日、
ギャレット・リーズマン宇宙飛行士は19日)経過しました

★ISS動向

第16次長期滞在クルーのペギー・ウィットソン、ユーリ・マレンченコ、ギャレット・リーズマン宇宙飛行士は、3月25日にレオポルド・アイハーツ宇宙飛行士を含むエンデバー号(STS-123)のクルー7名をISSから送り出した後、3名での運用体制に戻りました。第16次長期滞在クルーは、米国時間4月3日に予定されている歐州補給機(Automated Transfer Vehicle: ATV)のドッキングや、米国時間4月7日に予定されているプログレス補給船(28P)の分離に向けた準備などを行う予定です。

■国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士募集開始しました(4月1日～) → <http://iss.jaxa.jp/astro/select2008/>

■星出宇宙飛行士ジャーナル“Tsukuba, Station, S/G1”掲載中 → <http://iss.jaxa.jp/astro/hoshide/journal/>

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースマーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。